

様式 1【申し合わせ事項】：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名：川瀬孝代

〕

① 研修テーマに即した所感

今まで研修をしてきた内容であり、議会としての役割を確認する必要を感じました。他市町の状況はそれぞれであり本議会に当てはまるとは思わないところがありました。東員町議会基本条例に基づいて「改革は必要であるはず」とのところは 当然と認識しています。講師に資料をだされたことがなぜ必要なのか、それも平成 27 年とは、今は令和 5 年であり議会改革を実施している議会はたくさんあります。理解できませんでした。

議会改革に関しては、議員の資質、経験年数、研修、自己研鑽が必要でありことも確認できました。何のためにするのかを問うことも当然のことです。通年議会へは、前向きとは思えませんでした。

これからの取り組みとしては、残念に思いました。

② 今後、研修で得た知識等について、議会活動に反映するのか。

そもそも東員町議会では、議会改革に反対の姿勢を示している議員がほとんどです。反映する前に、基本条例が示すことに真摯に向き合うことと思います。以前に小林講師を迎えて、基本条例検証への研修会を行ったが棚上げで何も進めていない。講師に申し訳なく思いました。

議会運営委員会で議論すらされていないのが現状です。意見交換できる環境づくりが必要だと思います。

来年は 2 月に改選です、時間が足りないから進まないのではないかと思います。

③ その他

昨年、議会改革を議会運営委員会が着手していないため、議会改革委員会が必要と議長から提案があったが否定されている。

今回のテーマ「地方議会改革の論点と課題」までは到達しない現状と思う。

住民の付託に誠実に応えていくための改革は皆無に等しいと思います。

議長から諮問された項目が多かったため、確認しようとタブレットを開いたところ諮問内容が消されていたことがありました。議長がもう一度入力するように伝えるというとても考えられないことが起きました。議会では、ルールがあるし、やってはいけないことと、やらなければならないことがあります。こんな実例があること自体、大問題であります。

改革したところは、委員会が 2 年間となり委員会活動も活発化してきています。議会の見える化として住民に知ってもらうためにも、委員会をネット配信することを望みます。